

## 保育現場のICT化・自治体手続等標準化検討会について

### 1 趣旨

「子育て安心プラン」に基づく保育の受け皿整備に伴い、保育の担い手となる人材の確保が必要となる中、保育士の業務負担を軽減し、勤務環境の改善を図ることが求められている。

また、保育所等のITインフラの整備も喫緊の課題だが、地方自治体ごとに各種手続が異なっていることや、多くの紙資料の提出が求められるケース等が存在しており、いわゆるバックオフィス業務の効率化が進まず、過度な負担となっているおそれがある。

こういった状況の中、政府では、待機児童を解消するため、本年6月に「子育て安心プラン」を発表し、当該プランを達成するための6つの支援パッケージによる取組を進めることとしている。このパッケージの1つに「保育の受け皿拡大を支える「保育人材確保」が位置づけられており、その中では、「保育士の業務負担軽減のための支援（ICT化等）」として、「ICT化に向けたシステムの標準仕様や自治体手続きの標準化を含む改善策検討のための調査研究を行う」ことが盛り込まれている。

以上を踏まえ、本検討会では、保育現場のICT化及び自治体手続等の標準化を進めるため、以下の検討事項を中心に実態把握・検討を行う。

### 2 主な検討事項

- ・保育現場のICT化に向けたシステムの標準仕様の検討
- ・保育に関する給付等に関する自治体手続の実態を踏まえた、手続のデータフォーマットの標準化に向けた検討
- ・その他保育現場のICT化に関する課題の抽出と改善策の検討 等

### 3 委員について

別紙のとおり。

ただし、必要に応じ、委員以外の関係者について、検討会への出席を求めることができるものとする。

### 4 議事及び資料の取扱いについて

- 本検討会については、議事概要を作成し、資料とともに公表する。
- ただし、座長が特に必要と認めるときは、議事概要及び資料の全部又は一部を公表しないものとするができる。

### 5 事務について

- 本検討会の事務は、内閣府、総務省、厚生労働省及び文部科学省の協力を得て、経済産業省商務・サービスグループサービス政策課教育サービス産業室で行う。

※この検討会は、NEDO「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業／IoTの社会実装推進に向けて解決すべき新規課題に関する検討」のテーマ①「保育事業のIoT技術利用によるデータベース及びプラットフォームの検討」により開催されるものです。

(別紙)

## 保育現場のICT化・自治体手続等標準化検討会 委員名簿

青木 正博 横浜市こども青少年局子育て支援部保育・教育運営課  
給付・支給認定担当課長

池本 美香 株式会社日本総合研究所調査部 主任研究員

金本 昭彦 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
保健福祉システム部会 福祉システム委員長

鈴木 右 全国私立保育園連盟副会長（柏井保育園園長）

高橋 翠 東京大学大学院教育学研究科附属  
発達保育実践政策学センター 特任助教

◎ 吉田 正幸 株式会社保育システム研究所 代表

◎：座長

(50音順、敬称略)